

# LabSat 3 Wideband

## GNSS Record and Replay with a recording bandwidth of up to 56MHz



LabSat3 WIDEBAND は、L1,L2,L5等の RF信号の記録・再生を行うことができるGNSSレコーダーです。従来のLabSat3 よりも、より広い範囲の帯域（L1 ~ L5）のGNSS信号が記録再生することができるようになりました。

記録する周波数帯はユーザーによって任意に設定することができます。

最大3つの中心周波数を設定することができ、さらに指定した中心周波数に対して、帯域幅(10MHz, 30MHz, 56MHz)を指定することができます。

この機能により、ユーザーは記録したい周波数帯を自由に指定して、実験を行うことができます。

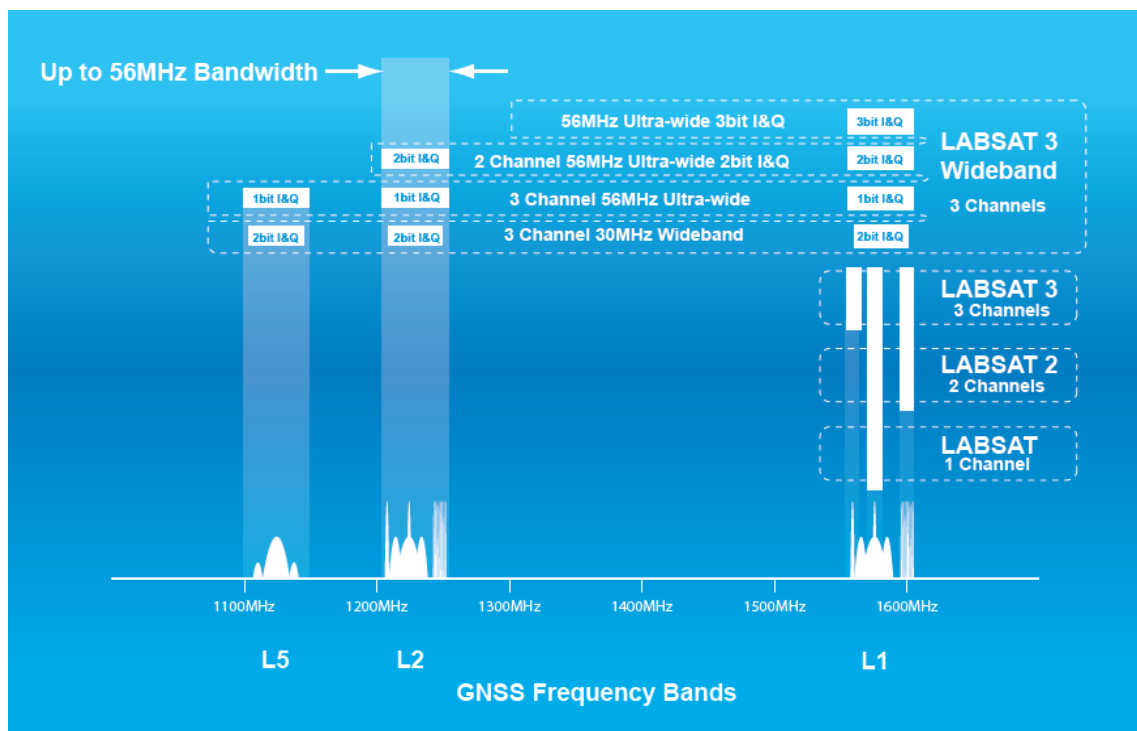
### 記録可能なGNSS信号

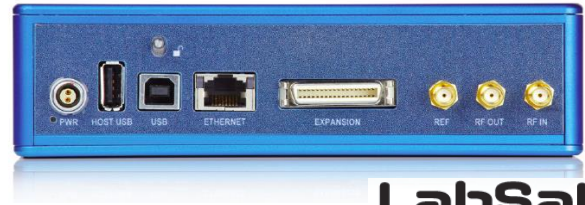
GPS:	L1 / L2 / L5
GLONASS:	L1 / L2 / L3
BeiDou:	B1 / B2 / B3
QZSS:	L1 / L2 / L5
Galileo:	E1 / E1a / E5a/ E5b / E6
IRNSS:	L5
SBAS:	WAAS, EGNOS, GAGAN, MSAS, SDCM



### 特徴

- L5記録対応
- ワンタッチ記録再生
- 取外し可能な内蔵 1 TB SSD
- 2時間連続可能な内蔵充電式バッテリーパック
- コンパクトで軽量(1.2kg)
- CAN× 2、RS232,デジタルパルスを最大4ch同時記録再生可能
- PC不要でスタンドアロンで使用可能





LabSat3 Wideband	
対応する衛星	GPS L1, L2, L5; Galileo E1, E5a/b, E6; GLONASS L1, L2, L3; BeiDou B1, B2, B3; QZSS L1, L2, L5; IRNSS L5; In Band SBAS等ユーザーが自由に設定可能です。
出力信号レベル	-73 dBm (-73 dBm ~ -160 dBmの範囲で調節可能)
RFチャンネル	最大3チャンネルまで利用可能
RF CH1 中心周波数	自由に設定可能
RF CH2 中心周波数	自由に設定可能
RF CH3 中心周波数	自由に設定可能
記録できる衛星数	見えているものすべて
サンプリング周波数	10.23 MHz, 30.69 MHz, 60 MHz (量子化の設定に依存)
帯域幅	10 MHz, 30 MHz, 56 MHz
量子化	1 bit (I&Q) (RFチャンネル数を1chに制限した場合は、2bitもしくは3bitの利用が可能)
データフォーマット	I & Q
外部入力	2x CANチャンネル, 4x デジタルパルス, 1x RS232 の中から最大4ch利用可能
内蔵バッテリーの交換	Yes
記録媒体	1TB SSD 4GB SDカード(ファームウェアアップデート用)
アクティブアンテナへの供給電圧	3.3 V
基準発信機	10 MHz OCXO 温度安定性 +/- 0.05 ppm, 周波数安定性 +/-0.3 ppm(納入時)
電圧動作範囲	8v ~ 30 VDC
サイズ	167 mm x 128 mm x 46 mm
重さ	1.2 kg

■仕様、デザインなどは改善等の理由により、予告なく変更する場合があります。